

陳情書

私共 日韓親善を願う諸団体は石井光次郎先生を慰靈祭執行委員長に置き、太平洋戦争で犠牲された九韓人軍人軍属、二二二〇柱の諸靈を弔り、一日も早く遺族のもとに奉還されることを念願しつつ、昭和四十五年十月三日靖國神社の傍より九段會館において慰靈祭を厳肅に執行いたしました。当日韓国からは大統領顧問郭尚廉先生、遺骨奉安会顧問飯橋漢先生、同会理事長鄭永先生が来賓として出席されました。この慰靈祭が契機となり、韓国において遺骨奉還の機運が醸成され遺族の確信された三〇四柱につき、韓国外務部・保健社会部の認可と遺族の委任を受けて鄭瑛永先生が来日されました。厚生省と交渉の結果三〇四柱の遺骨に關し奉還されることになりましたことは誠に喜ばしいことと存じます。

つきましてはたとえ國論は韓国であつても、当時は慰靈を舉じ日本軍人として勇闘死地に赴いた方々でありますので奉還にあたりましては、礼を厚くし、遺族を慰めるため特別のご配慮を賜りたく茲に陳んで陳情申し上げます。

昭和四十六年十月 日

財団法人日韓文化協會 會長 石井光次郎 印
 財団法人西細重友之會會長 大山重吉 印
 社団法人日韓親和會會長 鈴木一 印
 財団法人日本遺族會會長 野原興室 印

内閣總理大臣

佐藤榮作 殿